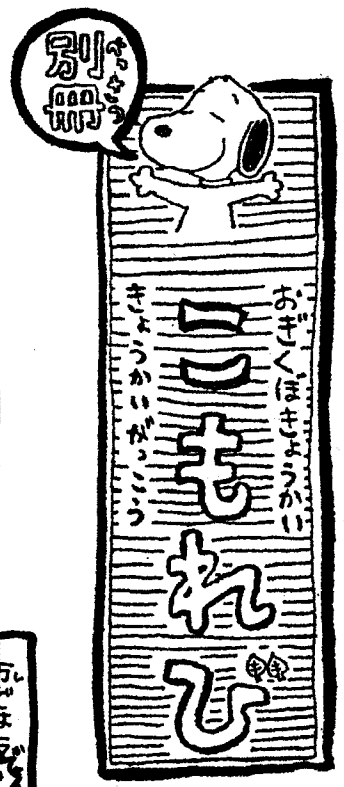


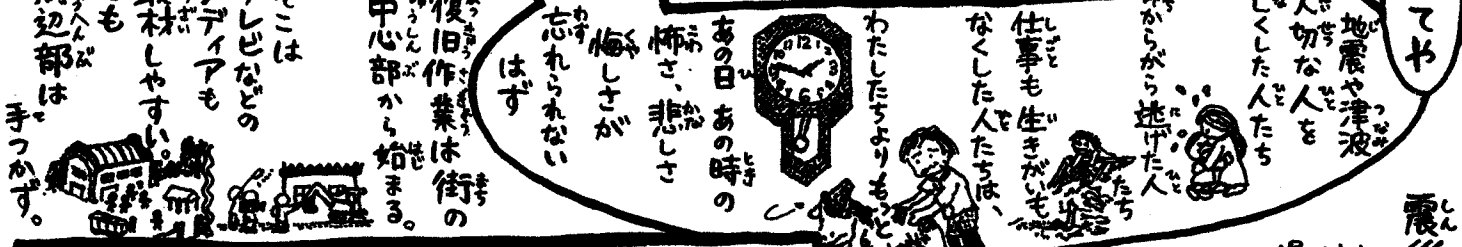
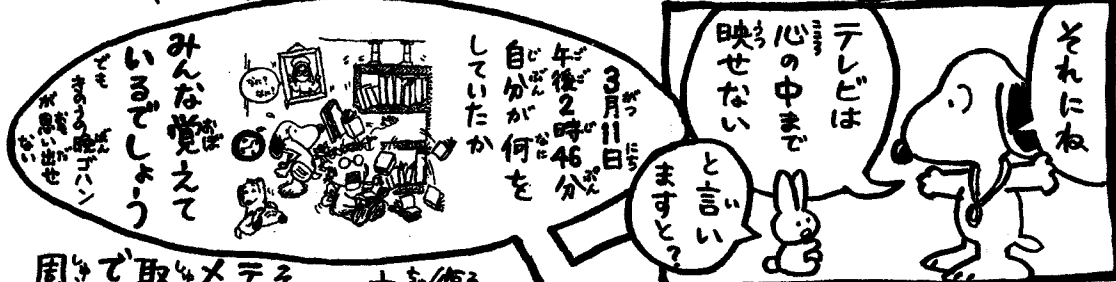
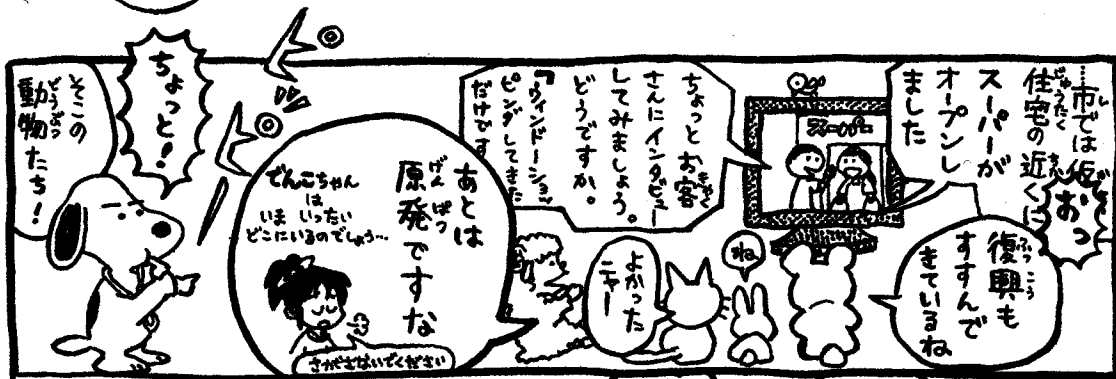
あなたがたはキリストの体であり、  
また、一人一人はその部分です。

一つの部分が苦しめば、  
すべての部分が共に苦しみ、  
一つの部分が尊ばれば、  
すべての部分が共に喜ぶのです。

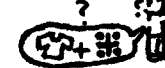
聖書のこほ  
✕  
Iコリント12章  
27節と  
26節



2011年7月号  
別冊  
「大震災関連・続報」  
発行大: ス又校長



震災からもうじき4か月





紙面をお借りして

# いのしえん お祈りと支援のおねがい

被災地での傾聴ボランティア継続のために

6月号別冊でも紹介された「傾聴」のボランティア、教会関係では兵庫県神戸市の「パストラルケア

センターHUGハウスの専門家の方々が震災直後から岩手県釜石市や南三陸町に滞在してボランティアで傾聴に取り組んでいます。

スヌ校長が現地スタッフとお話しする機会があったのですが、傾聴の取り組みが長期化するなか、収入の道の途絶えた傾聴ボランティアは、まさに

ぎりぎりのところで活動を続けているのが現状のようです。

パストラルケアとは？ それは、善き牧者であるキリストにならい、ひとりひとりの心に接する心のケア。「羊飼いの牧者」の意味のラテン語 pastor が語源



活動資金など心配せず被災された方々の心のケアにうちこめるように、こうしたボランティアの人たちを支えることも、被災地支援につながる大切なことだと思います。

ひとりひとりの小さな力もみんなが合わせることによって大きな力になります。ご無理のない範囲でご支援いただけましたらとてもうれしいです。

おごづかいからほんのすこしだけでも...とか振り込むわけにいかない場合は

直接ご支援いただける場合は、こちらへ

郵便振替 00920-6-103934
加入者名 パストラルケアセンターHUGハウス
【通信欄には必ず 次のように明記してください！】
東日本大震災 傾聴ボランティア支援のため

こちらへ
7月末にきょうかいがっこう
名義でまとめて送金します
校長室のわきに募金箱を置くよ



神戸市のカトリック看護師(堤 澄子さん)たちを中心に運営されている「パストラルケアセンターHUGハウス」は、カウンセリングやパストラルケア等心のケアを、苦しむ人に提供しています。また心のケアに携わる人を育てる学習会や講演会も行っています(ただし今は被災地で活動するため、休止中)。

ホームページ
http://www.k2.dion.ne.jp/~hughug/000\_main.html

救世教会の福祉部にも、ご支援いただけませんか。相談してみただ。するとすぐに決断してください。ひとまず3券前を傾聴ボランティア支援にご送金くださいました。ご報告

カトリック救世教会
主任司祭 岸 忠雄 神父
主日のミサ... 7:30~/10:00~
http://www.kotonanoki.com/
〒168-0072 杉並区高井戸東4-18-13
もしも 03-3334-8216 (FAXは-8261)